

2023年主要国首脳会議（G7サミット）
の広島誘致に関する要望

令和4年（2022年）1月

2023年G7サミット広島誘致推進協議会

外務大臣 林 芳正 様

広島県知事

湯崎 英彦

広島市長

松井 一實

広島商工会議所会頭

池田 晃治

一般社団法人中国経済連合会会長

荻田 知英

広島経済同友会代表幹事

田村 興造

広島県経営者協会会長

西川 正洋

公益財団法人広島平和文化センター
理事長

小泉 崇

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー
専務理事

山本 秀樹

2023年主要国首脳会議（G7サミット）の広島誘致に関する要望

平素から、広島発展につつまして格別の御支援と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2023年G7サミット広島誘致推進協議会は、2023年主要国首脳会議（G7サミット）の広島市での開催誘致を希望しておりますので、格段の御配慮をお願い申し上げます。

（広島開催の意義、世界への発信力）

第二次世界大戦の終結から77年が経とうとしていますが、いまだ信頼関係を基調とする安全保障体制が構築されているとは言い難く、核兵器を巡る国際情勢は混迷の様相を呈しており、人々が安心して暮らせる「核兵器のない平和な世界」を実現するには程遠い状況にあります。

広島は、人類史上初めて原子爆弾による被害を受けた、唯一無二の存在です。被爆者の苦しみや悲しみは筆舌に尽くしがたく、消えるものではありませんが、広島の地は過去を乗り越え未来を志向するという考え方の下、「こんな思いは他の誰にもさせたくない」という被爆者の心からの願いを、世界に発信し続けている都市です。

私たちは、人々が被爆の実相に触れ、被爆者の体験や平和への思いを共有すれば、核兵器の非人道性を認識し、核兵器は絶対悪であるとの思いを抱かれることと信じています。そのため、国内外から多くの人々、特に各国の為政者に広島を訪れていただけるよう、「迎える平和」を提唱し、国と連携して多くの為政者をお迎えしてきました。

また、広島は、原子爆弾による破壊から不死鳥のごとく蘇った都市です。戦後75年は草木も生えないと言われた廃墟の中から、目覚ましい復興を遂げ、今日、中・四国地方の中核都市として圏域を牽引する都市へと発展しました。広島の足跡は、今まさに、紛争により破壊され、復興に向け前

進しようとする世界の各地域の「希望の象徴」でもあります。

復興を成し遂げた「希望の象徴」広島は、平和こそが成長と繁栄、そして幸福をもたらすことを世界に証明しています。

この広島を舞台に、日本国政府のリーダーシップの下、世界の政治指導者が、広島で育まれた寛容の精神を直接感じ、広島という「場」の持つメッセージ力を活かしながら、国際的な課題の解決に向けて対話を重ねることで、国際社会の連帯を一層強固にし、人類の存続と繁栄に向けた新たな道筋を全世界に強く示すことができると考えます。

(実績ある安全・安心、コンパクト)

また、2016年のG7外相会合を始め、これまでも多くの国際会議を安全・安心かつ成功裡に開催した実績と経験があるとともに、関係施設が市街地にコンパクトに集積しており、利便性が高く、効率的に会議を運営することが可能です。

(広島ならではのおもてなし)

さらに、広島は、約400年前から城下町として栄え、西日本における産業、経済、行政の中核都市の一つとして発展してきた歴史を有するとともに、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、多くの川と瀬戸内海からなる「水の都ひろしま」の美しい景観は、市民や観光客に安らぎと楽しみを与えてくれます。サミット参加者の皆様にも、広島の豊かな自然や街並み、食文化、伝統芸能などに直接触れ、平和文化を通じて平和の尊さを体感しながら、広島ならではの「おもてなし」を堪能していただくことができます。

つきましては、2023年に日本で開催される主要国首脳会議（G7サミット）又は外務大臣会合を、是非とも広島市で開催していただきますよう、格段の御配慮をお願い申し上げます。